

# 不法投棄未然防止事業協力評価報告書

<平成25年12月16日実施>

第三者委員会

No. 13-1	都道府県名：千葉県			覚書を締結した市町村等名：千葉市					
協力の対象となる地域と当該地域世帯数及び人口：千葉市全域			世帯数 <sup>※1</sup> ：406,309	人口 <sup>※1</sup> ：961,749					
事業協力年度 <sup>※2</sup> ：(H21)・(H22)・(H23)・(H24)・(H25)・(H26)									
防止事業				引渡事業					
H22	実施期間	平成22年2月1日～平成23年1月31日		実施期間	平成22年5月1日～平成22年7月31日				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防止看板の作成と設置</li> <li>・懸垂幕の作成と設置</li> <li>・警告シールの作成と貼付</li> </ul>		内容	職員が回収し、環境事業所内ストックヤードに一時保管後、指定引取場所に輸送する。				
H23	実施期間	平成23年2月1日～平成24年1月31日		実施期間	平成23年5月1日～平成23年7月31日				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防止看板の作成と設置</li> <li>・警告シールの作成と貼付</li> </ul>		内容	職員が回収し、環境事業所内ストックヤードに一時保管後、指定引取場所に輸送する。				
H24	実施期間	平成24年2月1日～平成25年1月31日		実施期間	平成24年5月1日～平成24年7月31日				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視カメラの設置</li> <li>・防止看板の作成と設置</li> <li>・監視指導業務の実施</li> <li>・警告シールの作成と貼付</li> </ul>		内容	職員が回収し、環境事業所内ストックヤードに一時保管後、指定引取場所に輸送する。				
品目		エアコン	ブラウン管式テレビ	液晶式及びプラズマ式テレビ	冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機	合計		
H22	引渡事業の実績(台)	0	75	0	23	8	106		
H23	引渡事業の実績(台)	0	48	0	26	11	85		
H24	引渡事業の実績(台)	0	44	5	30	8	87		
費目 (金額：千円未満は四捨五入)		防止事業			引渡事業			合計	
		設備費	労務費	その他経費	小計	撤去等費用	再商品化等料金	小計	
H22	※3①確定上限額(千円) <流用額>	275 <-20>	0	120 <20>		0	256		
	②事業に要した費用(千円)	34	0	525	559	0	239	239	798
	交付した助成額(千円)				77	0	239	239	316
H23	※3①確定上限額(千円)	101	0	100		0	286		
	②事業に要した費用(千円)	221	0	753	974	0	280	280	1,254
	交付した助成額(千円)				101	0	280	280	381
H24	※3①確定上限額(千円)	253	704	525		0	434		
	②事業に要した費用(千円)	737	704	735	2,176	0	285	285	2,461
	交付した助成額(千円)				741	0	285	285	1,026

※1：世帯数及び人口は、平成22年国勢調査による

※2：事業協力年度の評価について

①不法投棄削減の評価

- ・平成22、23年度協力事業において市町村等が掲げた平成23、24年度削減見込みの達成状況についての評価
- ・平成24年度協力事業において市町村等が掲げた平成25年度削減見込みの達成状況についての中間評価

②防止事業及び引渡事業の評価

- ・平成22、23、24年度に行われた協力事業の実施状況とその成果についての評価

※3：流用がある場合、確定上限額は流用額を含む

# 不法投棄未然防止事業協力評価報告書

<平成25年12月16日実施>

第三者委員会

No.13-2	都道府県名：千葉県	覚書を締結した市町村等名：千葉市
事業協力年度	H21・H22・H23・H24・H25・H26	

## I. 不法投棄量の削減状況

### イ. 平成22年度事業による平成23年度見込み達成状況

平成22年度事業実施による成果として、平成20年度の特定廃棄物の不法投棄発見量415台に対する平成23年度の削減率を30.8%（年間不法投棄発見量288台）と見込んでいたが、同発見量は837台で、平成20年度に対して101.7%増となった。

### ロ. 平成23年度事業による平成24年度見込み達成状況

平成23年度事業実施による成果として、平成21年度の特定廃棄物の不法投棄発見量678台に対する平成24年度の削減率を37.9%（年間不法投棄発見量421台）と見込んでいたが、同発見量は407台で、平成21年度に対して40.0%減となった。

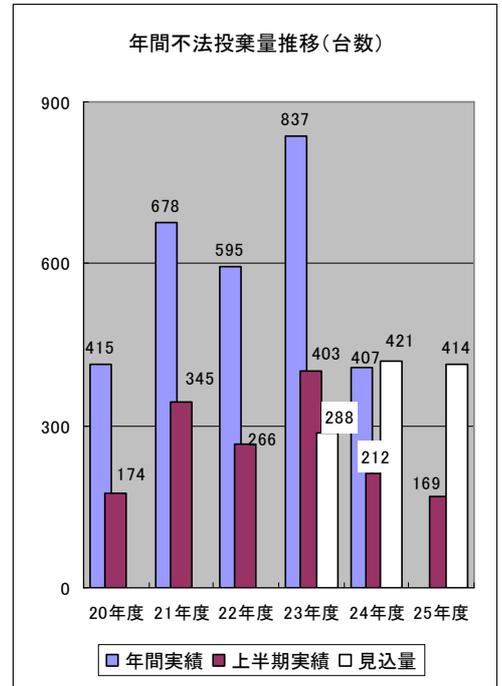
### ハ. 平成24年度事業による平成25年度見込み状況

平成24年度事業実施による成果として、平成22年度の特定廃棄物の不法投棄発見量595台に対する平成25年度の削減率を30.4%（年間不法投棄発見量414台）と見込んでいる。

平成25年度の同発見量は4～9月度までの半期実績では169台となっており、平成22年度の同期間の実績に対して34.0%減となっている。

### ニ. 平成20年度以降の推移状況

平成23年度まで増加傾向であったが、平成24年度は減少に転じた。



見込量：23年度は応募申請書に記載された1ヶ月の平均見込み台数に12を乗じ、小数点以下を四捨五入。24年度以降は応募申請書に記載された年間見込み台数。

## II. 防止事業・引渡事業の実施状況

### イ. 平成22年度事業

#### ①防止事業について

- ・不法投棄防止啓発用懸垂幕の掲示（2箇所）
- ・警告シール作成（20万枚作成、8万枚貼付、残12万枚）
- ・防止看板は、期初在庫のうち260枚を設置したが在庫があるため作成せず。

#### ②引渡事業について

5月31台、6月32台、7月43台、計106台を引渡した。

### ロ. 平成23年度事業

#### ①防止事業について

- ・警告シール作成（繰越在庫12万枚、35万枚作成、32万枚貼付、残15万枚）
- ・防止看板の作成と設置（繰越在庫70枚、250枚作成、305枚設置、残15枚）

#### ②引渡事業について

5月16台、7月69台、計85台を引渡した。

### ハ. 平成24年度事業

#### ①防止事業について

- ・警告シール作成（繰越在庫15万枚、35万枚作成、26万枚貼付、残24万枚）
- ・防止看板の作成と設置（繰越在庫15枚、1,000枚作成、524枚設置、残491枚）
- ・監視カメラの設置（購入20台、設置数9台）
- ・監視指導業務の実施（2名、18回）

#### ②引渡事業について

7月に87台を引渡した。

## III. 事業の評価等

平成22年度、看板作成を計画していたが在庫を充当し設置したため作成しなかった。事業の計画策定について精度向上が望まれる。

平成22年度事業実施の結果として、平成23年度不法投棄削減見込みは未達成であった。

平成23年度、両事業は概ね計画通り実施された。

平成23年度事業実施の結果として、平成24年度不法投棄削減見込みを達成した。

平成24年度、警告シール、看板の作成数と設置数及び監視カメラの購入数と設置数に乖離があり、適切に管理されていないと考えられる。